

半田市地域公共交通懇談会 議事録

開催日時	平成29年1月27日（金）	10時00分～12時00分
開催場所	半田市役所4階 大会議室	
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会長あいさつ 2. 半田市地域公共交通対策事業について 3. 半田市地域公共交通懇談会 <ol style="list-style-type: none"> ①懇親会の趣旨 ②各地域のくらしの足の状況について 4. その他 	
出席委員	<p>（会長）</p> <p>半田市 副市長</p> <p>（委員）</p> <p>知多乗合株式会社取締役バス営業本部長</p> <p>国土交通省中部運輸局愛知運輸支局</p> <p>亀崎5区 区長</p> <p>乙川7区 区長</p> <p>成岩3区 区長</p> <p>半田市観光協会事務局長</p> <p>市民代表</p> <p>名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻准教授</p> <p style="text-align: right;">※敬称略</p>	
事務局	<p>防災監</p> <p>防災交通課</p>	<p>齊藤清勝</p> <p>副主幹 間瀬恒幸、主事 石川修平</p>

次 第	議事概要
1. あいさつ	(会長 副市長あいさつ)
2. 半田市地域公共交通対策事業について	(事務局) ・平成28年度半田市地域公共交通会議等の実施状況 ・半田市民の公共交通利用実態および意識に関するアンケート調査の結果概要 について説明
3. 半田市地域公共交通懇談会について	(名古屋大学准教授 加藤博和氏) ①懇談会の趣旨 12月中に発送したアンケート調査の概要を取りまとめたものを提出しました。これを見ると、全くバスに乗ったことがない方が半数ほどいますが、回答いただいた割合からすると意識は高いと言えます。他の自治体でもアンケート実績はありますが、半田市は関心のある方が多いなと思いました。 先週、私は会津若松にいまして、そこは半田市と同じ12万人ほどの人口のまちです。駅前から街中循環バスが15分に1本出ており、外国人の観光客のみならず、地元の高校生や一般の方など様々な方が利用されています。一方、それと比較して半田市はそのような状況は全くないですし、今後これらを打破するために色々と考えていかなければなりません。2月、3月には各地域でグループヒアリングを実施していく予定ですが、そこで具体的にどのような話題を出すべきかを今日の懇談会で知りたいです。例えば、ひとつのある地域において、その地域の方はどこに買い物に行きたいか、ここへよく買い物に行くなど、その地域の特性に合った話し合いが出来ればと考えています。 今からは、本日の資料で出されたアンケート調査結果に基づ

き、皆様の感想を伺いたいと思います。

(市民代表) ※バス利用者

自家用車を持っている人が多く、知多バスを利用している人がこんなに少ないのかというところに驚きました。

(市民代表)

私もアンケートに回答しましたが、結果を見るとこれだけで色んなことが分かるんだなと思いました。

(市民代表)

私はバス会社に勤めています。通勤も自家用車やバイクを利用しており、バスは使っていません。

(市民代表 (さくら小学校区))

自分自身、バスをほとんど使っていないため、バス停の位置などの把握もできていません。観光バスを使うことがあるくらいでしたので、これを機会に路線バスを知っていくことができると思います。

(名古屋大学准教授 加藤博和氏)

さくら小学校区は市内で一番回答率が低い結果であったため追加によるアンケートを行うこととなりました。それだけ関心がないということになります。

(市民代表 (さくら小学校区))

2月に瑞穂記念館でグループヒアリングを予定しており、参加する市民を選ぶように依頼されていますが、だれが利用している・していないの把握が出来ていないため、選任に苦勞している状況です。

(名古屋大学准教授 加藤博和氏)

今回のアンケート調査で知りたいことのひとは回答率です。各小学校区でいかに関心がそれぞれあるかを確認できるからです。各地域でグループヒアリングでは、利用している人・利用した事がない人のそれぞれが話し合えるといい。

(市民代表 (横川小学校区))

アンケート結果を見て感じたのは、横川小学校区では自家用車利用率が9割ほどでバスに乗る人がほとんどいない気がします。地元に戻ってくるバスをみると、ほとんど無人のバスです。今後は高齢化が進み、免許返納の人が増え、買い物難民の人が将来的に増えることが想定される中で、それらを踏まえた上で今後のバスを考えていくべきなのかなと思いました。また、買い物として、横川小学校区はアピタ阿久比店に行く人が多いと思いますが、アンケート結果での上位買い物施設は市内ばかりで、すべての意見を反映できてない気がしました。

(名古屋大学准教授 加藤博和氏)

横川小学校区は、買い物に関するアンケートでは、その他の回答が、他の小学校区よりも多い結果が出ています。その他でアピタ阿久比店が挙げられています。

(市民代表 (成岩小学校区))

アンケート結果に買い物施設として、パワードームなど挙げられています。回答した人がどこに住んでいるかによって結果が変わってくると思います。数ある買い物施設がある中で、一部しか載せられておらず、それに限定したバスを考えていくのは良くないと思います。一度、事務局として回答した方の住んでいる場所等を把握する必要があると思います。

(名古屋大学准教授 加藤博和氏)

タクシーであれば自由に行き先が決められます。ただしバスは、一定の決められた場所にしか行けません。そのように考えると、バスの行先は大多数の人が利用する施設に限定されます。それは、買い物施設に限らず半田病院なども同じです。

(市民代表 (横川小学校区))

私はバスをほとんど利用した事はありません。免許証を持つ方も高齢化している中で、バス路線が減ると、市民から心配の

声が多くなっています。また、市外地の買い物施設へ行く方法についても同じ声がありますので、それらを解決できる良いバス路線を考えていきたいと思えます。

(市民代表 (雁宿小学校区))

私は、知多バスの車庫近くに住んでいます。最近、バスは便利だなど思うようになってきました。ただ、半田東高校の生徒は自転車通学の生徒が多いですが、高校までバスもつながるとういなど思いました。最近バス料金も上がって、予算がなくバスを利用できなくなったという意見もあると聞きます。使いやすい利用しやすいバスを今後も考えていきたいと思えます。

(半田市観光協会事務局長)

私は成岩地区に住んでいます。アンケートでバスを利用しなくなった割合があり、その理由も出されているので、ここを特に注意してみるべきかと思いました。私も免許返納者であり、半田での生活は、徒歩・バス・タクシーを駆使しています。

(市民代表)

自家用車の利用率は7割とありますが、年々免許返納者が増えていくと思うので、状況に応じてバス停なども決めていくといいのではと思いました。

(名古屋大学准教授 加藤博和氏)

免許返納ですが、都会が非常に多いです。事例として、岐阜では岐阜市、大垣市、高山市の順に多くなっています。返納する場所の多い箇所では共通して公共交通機関が充実していることの理由が多いです。

(市民代表)

過去、私も通勤で8年間バスを使っていました。変則的ですが、JRの電車時間が合わなかった場合、雨が降っている場合などに使っていました。使っていた間も、様々な停留所で降りている人がいましたので、利用者は多種多様であると思いまし

た。市民が利用することが多い場所へはバスが必要であると思います。

(名古屋大学准教授 加藤博和氏)

どこにバス停を作れば、たくさん人が乗ってくれるのかを考えることも重要です。

(市民代表 (乙川東小学校区))

最近は時間にゆとりもあるため、できる限り歩いています。子どものころはバスに乗っていましたが、大人になってからは乗っていません。私はバスに乗ると料金はいくらなのか、本当に到着するのかなどでよく不安になります。半田はJR・名鉄が両方走っているいい場所であるため、駅の間をつなぐ路線を増やして頂けると利用者も増えると思いました。

(名古屋大学准教授 加藤博和氏)

知多バスも利用者の増加に向けて、分かりやすい時間帯への見直しをしましたが、今後もあらゆる方策を考えていくべきと思います。

(市民代表 (乙川東小学校区))

アンケート調査結果がありますので、今後、高齢化が進む中、自動車の返納者を増やすための方策を作り、バスを利用する人を増やすこともいいと思います。

(市民代表 (雁宿小学校区))

地元の雁宿小学校区でもバスを知らなかったという人が多いことから、付近に買い物施設等が十分にあるという結果でもあると思います。

(防災監 (さくら小学校区))

このところ、バスをよく利用しています。バスを利用することで知多半田駅までも歩くこと少なくなりました。乙川新町へのバスも先日利用しましたが、7人ほど乗り降りするなど多くの利用者がいました。バスに乗ると、新たに発見することが多

くあります。先生がおっしゃる通り、百回の陳情より1回の乗車というように、時間を作ってバスに乗ることを皆さんもお願いしたいと思います。

(名古屋大学准教授 加藤博和氏)

アンケート結果も出る中、今の段階でどのような公共交通が良いかなど、意見はありますか。

(半田市観光協会事務局長)

移動手段は様々なものがありますが、その中でも便利と思ったこととして、タクシーでマナカ決済ができるようになったことです。これだけで、出かけるのが楽しくなることがあります。岐阜の高齢者向けのICカードを配布している事例もあるので素晴らしいと思います。支払い方法が便利になるだけで、バスを使おうとするきっかけとなります。

(副市長)

半田市内では、過去、巡回バスで失敗した事例もありますので、今回のアンケート調査結果を踏まえた上でバス路線を作ればより良いものになると思います。今後も分析を重ね、交通弱者の方だけではなく、いろんな方へ利用いただけるバス路線を作っていきたいと思います。

(名古屋大学准教授 加藤博和氏)

支払方法のひとつの事例として、豊川市があります。バスにIC決済機能を導入することが困難でしたが、そのかわりに運賃は200円または300円のどちらかと分かりやすくしています。様々な方法があると思います。

(市民代表 (横川小学校区))

交通弱者が多くいる中で、そのような方を助ける手段になりますが、自宅からバス停まで遠くまで歩かなければならない人からは、やはり利用して頂けないと思う。少しでもカバーできる路線を考えることも大切かと思っています。

(市民代表)

半田市内に在る大企業の通勤バスやデイサービスのバスを活用するのもいいと思います。

(名古屋大学准教授 加藤博和氏)

企業バスの活用でいえば、大口町が取り組んでいます。定期券を安く販売したりしています。半田市内には他にも日本福祉大学行きのバスもあるので、それらの活用も考えられます。また、商業施設がバスを出して運行しているのもあります。イオンなどは行っています。

(知多乗合株式会社取締役バス営業本部長)

最近は、バス路線の見直し、分かりやすい時間帯へのダイヤ改正等を行っています。また、ナビタイムに加入し、バスの乗り換えを分かりやすくする工夫をするなど、今後もバス利用者の増加につなげていくための工夫をまいります。

(終了)